



Kaji Junior high school times

梶中学校通信

JUMP

飛翔

発行：大阪府守口市立梶中学校

校長 丸山 宗久

☎06-6902-0813 ☎06-6907-2669

〒570-0015大阪府守口市梶町4-28-5



11.5(水)後期：生徒会役員認証式

～新執行部に梶中学校の今年度後半を託す～



→標記日程で、先般実施された「後期生徒会役員選挙」において選ばれた新執行部のメンバーを

正式に役員として認証する「後期：生徒会役員認証式」を会場の体育館にて開催。これにて新役員が誕生しました。

【前期生徒会の意思を引き継ぐ】→冒頭は前期生徒会執行部各役員からの挨拶。やり遂げた達成感からか、感涙



に咽ぶ場面もありました。前期役員が拓いた土台があるから後期役員が積み上げられるのです。更には、前期役員は勿論、これまで梶中学校創立56年の蓄積がある事を忘れず、新執行部役員がその意思＝SPIRITを引継ぎ、本校の令和七年度を完成させてくれる事を大いに期待致します。又それらは生徒会だけでは完成しません。今年度本校生徒全員の協力があり成し得るのです。



10.20~31後期：教育実習期間

～二週間の『先生』体験～

→標記の日程期間において、後期における教育実習の美習生(教生)として、大阪成蹊大学の学生(一名・保健体育科)が来校。期間中「先生」として活動を行いました。

【学校インターンシップとしても活動】→当教生は昨年度より学校インターンシップとして活動を行っているため、既に生徒達とは周知の間柄。円滑に交流出来るアドバンテージがあり、理想的なスタートを切る事が出来ました。10月30日の研究授業も無事終了。最終日31日は教生、生徒共名残を惜んで、二週間の教育実習を閉じました。いつの日かホンマモンの先生として現場に戻って来て下さい。



10.24(木)英語IBAテスト

～自分の英語力を知る～

→標記の日程にて「英語IBAテスト」が全国的に実施されました。当日本校の生徒達も自分の英語力がどの程度なのかを知るべく、厳正なルールに従ってテストに臨みました。

【国際共通語としての英語】→本テストは厳密な「英研」ではありませんが、中学生(各学年)としてのリスニングを含めた「英語力」の定着度を確認するテストです。依って結果が直接英語科の成績に影響するものではありません。中学校で習得する英語力は決して高校入試のためにある訳ではなく、国際的にもっとも通用する言語が英語である事を考えるとその必要性は理解出来ると思います。英語力を高める物差しとして結果を活用して下さい。





11.8(土) 守口市：中学生スピーチコンテスト

～守口市の中学生が主張する『今』～



→標記日程にて、今年度の「守口市：中学生スピーチコンテスト」が会場の守口市立図書館で開催。多くの発表者、審査員、学校関係者、保護者、そして保護司会や教育委員会の担当指導主事で賑わいました。本校からも第二学年：●● ●●さんが梶中学校の代表として参加。更には審査員として、同じく第二学年●● ●●さんが参加してくれました。後藤さんは「普通であって普通でない」というテーマでスピーチを発表しました。

【市長賞は庭窪中学校の発表者が受賞】→今回は発表者が17名。ゲスト発表者が4名。計21名が発表し、その結果市長賞は庭窪中学校発表者が受賞。本校後藤さんは敢闘賞を受賞しました。全ての発表で、今の中学生の視点や課題と感じている点がよく分かる内容のものばかりで賞自体はあるものの、本質的に全員共に甲乙付け難い素晴らしい内容でした。発表者、審査員の皆さん。お疲れ様でした。



10.28(火) 二年次経験者研修：音楽科

～タブレットを活用した授業で生徒の個性を發揮～

→標記日程で、本市採用二年目の教諭(音楽科)が「経験者研修(二年目研)」における「研究授業」を実施。当日指導助言のため来校の守口市教育委員会指導主事の他、所属学年職員を始め、多数先生方が授業を参観されました。

【音楽科の授業にもICTの波】→3つのイメージを提示し、そのイメージに合った楽器とメロディをタブレットで創作していく授業内容で、授業の大半はその創作時間。各自が自分のイメージに自分の個性を反映させながらメロディを紡いでいく姿から、生徒達が積極的に授業参加している事が伝わります。極めて完成度、密度の高い授業でした。



10.28~31 第三学年：進路懇談

～自己の進路を具体化する時期に～

→標記の日程期間において、第三学年が「進路懇談」を実施致しました。先般実施された保護者対象の「第二回進路説明会」での情報も持ち得ながら、保護者・生徒共に卒業後の進路決定、そして確定に向けて懇談に臨みました

【15歳の選択の難しさ】→実際15歳で将来に向けた見通しを持って臨むのは極めて難しい事です。その困難な選択を少しでも分かり易く、そして柔軟に考えて行ける様にするのが進路指導です。生徒達が不安定になりがちなデリケートな年齢でもあるため、円滑な進路決定に導ける様、学校、保護者という身近な大人が生徒の気持ちに寄り添い、その役目を果たして行きましょう。



【やまびこ学級にて】→ハロウィンは10日前に終わりましたが、その名残の話題です。いつもの習慣で生徒達の授業の様子を見て回っていた際、やまびこ学級担任の先生から呼び止められて教室に入るとハロウィン装飾を制作している生徒が。教室の壁面一杯に飾られたハロウィン装飾のその素敵なおもてなし。思わずシャッターを切りました。

